

カナダ英語研修 (トロント大学)

夏期

研修先: トロント大学 (University of Toronto)

カナダを代表する名門大学・トロント大学で英語力を伸ばす



トロント大学は、カナダのオンタリオ州トロントに本部を置く州立大学で、1827年創立の英国王室認可を受けたキングスカレッジを母体とし、カナダ屈指の名門大学として知られています。同大学は5人のカナダ首相と10人以上のノーベル賞受賞者を輩出しており、世界大学ランキングトップ20に入るカナダで最大の大学です。キャンパス敷地内に美術館や遺跡、公園、博物館、歴史的建造物などがあり、セントジョージ、スカボロ、ミシサガの3つのキャンパスからなっています。トロントはカナダ最大の都市で、北米ではニューヨーク、ロサンゼルス、シカゴに次ぐ4番目の大都市です。また、市街地は大学を中心に発達しているため、とても便利でありながら、重厚感のある建物も多く、趣深い街です。本研修は個人参加型であるため、引率者は同行しません。

●参考URL : <https://www.utoronto.ca/>

研修期間

28日間

2021年

8月2日(月)~8月29日(日)

[定員] 個別対応

(最少催行人数1名)

[参加費用] 研修代金/408,000円

旅行代金/272,000円

合計/680,000円

[滞在方法] ホームステイ (1家庭1名)

English for Effective Communication

短時間で話す力、聞く力をしっかりと伸ばすことに重点を置く。カナダの日常生活や文化をテーマとした授業を通して正しい発音を身につけ、さらに語彙力の強化を図る。

Fluency Fridays

毎週金曜日にカナダ文化についてテーマ別にディスカッションを行いながら、語彙力や正しい発音を練習する。また、一週間毎にどのくらい自信を持って流暢に話せるか、学習成果も確認する。

Intercultural Communication

週に1度、小グループに分かれてグループリーダーの指導のもと、リラックスした状況で会話の練習を行う。Cultural Assistant(トロント大学の学生)との会話を通して、自然な英語の発話に慣れ、多様な国籍をもつ学生の考え方を理解する。

引率について

本研修は個人参加の形態をとるため、引率者は同行しません。トロント到着時、出発時の空港~ホームステイ先間の送迎は、本プログラムの現地ホームステイ担当者が行います。また緊急時には、トロント大学の担当者が対応に当たります。

渡航前オリエンテーション

2021年7月6日(火) 16:35~18:30

※場所は後日連絡

研修内容

トロント大学が実施するEnglish for Effective Communicationコースで、研修初日に受けるプレテストの結果を基に、各自のレベルに応じたクラスで学びます。このプログラムは、午前9時から午後1時までの授業と、午後の課外活動からなっており、短時間で英語を話す力、聞く力をしっかりと伸ばすことを目的としています。カナダの歴史や文化に関する授業を通して、語彙力の強化を図るとともに、的確に伝わるライティングの方法を身につけます。週毎に決められたテーマについてのディスカッションをしながら、正しい発音に磨きをかけ、流暢に、自信を持って話す方法を実践的に学びます。また、トロント大学の学生がCultural Assistantとして週に1度のアクティビティに加わるほか、交流する機会があります。



研修日程

日程	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール	朝食	昼食	夕食
8/2	伊丹空港発	15:00頃	航空機	空路、羽田空港へ			
	羽田空港着	16:15頃					
	羽田空港発	17:40頃	航空機	羽田空港から直行便にてトロントへ			
	トロント着	16:45頃		着後、ホストファミリー宅へ (ホームステイ)	機内		○
8/3 ~ 8/27	トロント			トロント大学にて4週間の英語研修 (ホームステイ)	○	×	○
8/28	トロント発	13:40頃	航空機	空路、帰国の途へ	○	×	機内
8/29	羽田空港着	15:40頃			機内		
	羽田空港発	17:00頃	航空機				
	伊丹空港着	18:10頃		着後、入国手続きを経て解散			

※交通機関及び現地の都合により変更が生じる場合があります。

●旅行手配: JTB京都支店 ●利用予定航空会社: エアカナダ、全日空

成績評価・単位認定

研修終了時にトロント大学から授与される「修了証書」を確認し、授業参加度、授業態度、課題、発表、テスト等に基づいて評価します。

(「海外研修(語学)IIB」:2単位)